

## 研修会報告

平成 29 年 1 月 24 日

文責：東北医科薬科大学病院 佐藤 正樹

研修会テーマ「迅速病理組織診断標本作製の実際を学ぼう」

開催日時 平成 29 年 1 月 21 日（土）14：00～17：10

会場 宮城県立こども病院 愛子ホール

司会：東北医科薬科大学病院 佐藤 正樹

### 講演 1

座長：東北医科薬科大学病院 佐藤 正樹

「迅速病理組織診断標本作製の実際を学ぼう」

講師：東北医科薬科大学病院 病理診断科 山田 真梨子

東北大学病院 病理部 村山 優理香

仙台医療センター 臨床検査科 齋藤 邦倫

県立こども病院 検査部 車田 真澄

大崎市民病院 臨床検査部 戸村 弘樹

### 講演 2

座長：東北医科薬科大学病院 佐藤 正樹

「凍結切片作製法 -O.C.T.コンパウンドについて-

講師：サクラファインテックジャパン株式会社 久保川 一江先生

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 23 名 実務委員（講師含む）11 名 計 34 名

### 内容

迅速病理組織診断標本作製をテーマに研修会を企画した。講演 1 では県内 5 施設で迅速病理組織診断標本作製がどのように行われているのかを講演してもらい、その後のシンポジウムで疑問の解決や課題についての話し合いを行った。施設の選定は検体数の多い施設や特殊な症例を扱う施設、特別な工夫をしている施設などを選定した。施設には出来るだけ若手の講師をお願いした。講師には学術が作成したテンプレートに沿ってスライドを作成してもらい、約 1 ヶ月前からクラウド上でスライドなどを見せ合い、講師と学術部員で意見交換をして本番に向けて質疑の準備をした。結果的に講師は若手から元部門長までのバリエーションに富んだ構成になり、クラウドの使いこなし方も個人差がみられたが、ほぼ想定通りに意見交換を行うことが出来た。本番では思いの外、質問が多く議論が盛り上がりすぎてしまい、準備していた質疑ができなくなってしまった。全体的には上手くいったシンポジウムであったが、進行役である私の誘導が不足していたことが今後の反省点であると考えられた。

講演2ではサクラファインテックジャパン株式会社より迅速病理組織診断標本作製で使用するコンパウンドの歴史や性質について講演していただいた。当たり前のように使っている材料の歴史を知ってもらい、今後の業務に活かしてもらうことを目的とした。

今回のテーマはどこの施設も多少なりの課題や疑問を持っているようで、講師や参加者から、もっと質疑の時間を取りたかったという意見が多く挙がった。定期的に同様のテーマで研修会を開き議論を深めていきたいと考えられた。また今回、自分で初めて全ての企画や開催準備を行なったため、書類関係の不足が多かったことが反省点であると考えられた。